

フ ロ

- フロ・トイレはセパレート(別々)タイプや同室タイプがあります。(写真は同室タイプ)
- 水の元栓はフロ・トイレ別々もあれば一緒のものもあります。

フロ・トイレ



水抜き方法

- 1 フロの蛇口を開けて水を流します。
- 2 水の元栓を閉めます。
- 3 水が止まったら蛇口を閉めます。
- 4 最後にシャワーホースを下げて水を抜き、バスタブの中に置きます。

シャワーホース



お湯・水の蛇口



ト イ レ

水抜き方法

トイレ水タンク



- 1 トイレの元栓を閉めます。
 - 2 タンクのレバーを動かしタンク内の水を出し切ってください。
 - 3 便座内には水が少し残ります。
- 長期不在時は不凍液を入れてください。(不凍液はホームセンターなどで売っています。)

暖房便座



- 暖房便座は凍結防止ヒーターのコンセントを抜かないでください。電源が入っていれば不凍液は不要です。
- トイレの室温は部屋より低くなりがちですので油断はしないでください。

万一凍結した場合

生協Sumicaへご連絡ください。

- ★凍結解氷の場合は火災共済の給付保障対象にはなりません。解氷作業は、自己負担です。
※但し、「学生生活 110 番」ご加入の方は、「学生生活 110 番」へ連絡し、修理した場合は、解氷作業は0円となります。
- ★膨張して水道管などが破裂し被害を与えた場合は火災共済の給付対象になります。

快適なアパート生活のために

水抜きを覚えよう!

水道はマイナス4℃位で凍結することがありますが、弘前の冬は、マイナス10℃前後になることもあります。寒い時期の外出や帰省時は水抜きをしましょう。当パンフではごく一般的な水抜き方法を説明しています。



寒い時期の外出や年末帰省前には水抜きをしましょう。

生協管理アパートの方はSumicaにご連絡ください。係員が水抜き方法を指導いたします。



【発行】2013年11月
弘前大学生協同組合 Sumica
TEL 0172-31-7237
FAX 0172-31-7105

キッチン

- 水の元栓は、水道・お湯・洗濯機・フロ・トイレなどの種類があります。
- 複数の元栓を兼ねているものもあります。写真はキッチンと洗濯機が同じ元栓の例です。



水抜き方法



- 1 まず、蛇口を開き水を流します。(上写真)
- 2 次に水(キッチン)の元栓を閉めます。
- 3 水の流れ落ちる音が消えたら蛇口を閉めます。

洗濯機

- 洗濯機も凍結が多い場所です。



水抜き方法

- 1 洗濯機の蛇口を閉めます。
 - 2 水の元栓を閉めます。
 - 3 蛇口を閉めたまま、ホースを外します。
 - 4 ホースを立て、ホースの中の水を洗濯機に落とします。
- ★洗濯機使用後は蛇口を完全に閉めて下さい。

ガス給湯器

- 給湯器が一番凍結の多い場所です。基本をしっかり覚えましょう。
- 給湯器には凍結防止ヒーター・電源コード・水抜きホース・ガス栓・給水管など付いています。



水抜き方法



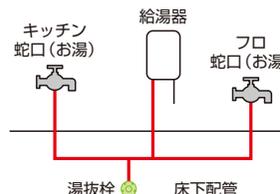
- 1 ガス栓を止めます。
- 2 キッチン同様、お湯の蛇口を開け、水を出します。
- 3 水(給湯器)の元栓を閉めます。
- 4 床の湯抜き栓を左へ回して開けます。(写真参照)
- 5 開けると下のようにお湯(水)が落ちます。
- 6 落ちる音が消えたら湯抜き栓を完全に閉めます。(右へ回す)
- 7 お湯の蛇口を閉めます。
- 8 凍結防止ヒーターは差し込んだままにします。

ここが重要ポイント

湯抜き栓から水が落ちる様子 (1階の場合、地中へ)



お湯の配管構造



湯抜きとは？

- 給湯器で沸かしたお湯は、通常床下の給湯管を通してフロヤキッチンに流れます。だから寒い時期にそのお湯(水)を放置すると凍結します。そこで、給湯管の中に溜まっているお湯(水)を地中へ落とすのが湯抜きです。落としたあとに湯抜きを閉め忘れるとお湯(水)の漏水原因となりますのでご注意ください。
- 給湯器の水抜き方法や湯抜きの操作方法はガス業者の方も教えてくれますよ。

気温に注意し、
マイナス4℃
前後になったら
水抜きして
凍結を防ごう！

凍結した場合の応急処置

- 1 熱いタオルを水道管に巻きます。
- 2 部屋や台所やトイレなどを暖めるなどの方法もあります。なお、注意してほしいのは、絶対に熱湯を直接かけないことです。水道管が割れる危険性があります。